

## (7-23) コンクリートの温泉浸漬試験について

正員 大阪市立大学理工学部 久 保 直 志

温泉水のコンクリートに及ぼす影響に就て、登別温泉外9ヶ所の温泉に、ポルトランドセメント及びシリカセメントによるコンクリート試験体を浸漬して、6ヶ月及び1ヶ年経過後のコンクリートの腐蝕状況、強度、弾性率等を調査した試験報告である。

## (7-24) 軽量骨材に関する二・三の研究

正員 日本大学工学部 堤 好 文  
 正員 同 榎 本 文 之 丞  
 准員 同 ○北 田 勇 輔

鉄筋コンクリート構造物、特に建築構造物のコンクリート骨材として、軽量骨材が使用せられているが、軽量骨材を使用するコンクリートの利点は、其の構造物の死荷重を軽減しうることにある。しかし、コンクリート骨材自身の強さが低くなるため、コンクリートとしての強度を多く要求することはできない、また現在の段階では軽量骨材を使用せるコンクリートの配合設計についてもまたその性質についても、いまだに明確なる結論がでない、軽量材は、産地が種々あつて、コンクリート製品とした場合の性質を、骨材産地のいかににかゝらず1つのものにまとめてしまうことは危険なことであろう。

この研究は、軽量骨材の内特に大島産軽量骨材についての2、3の問題について行つた研究を報告する。